

東大大学院教育と修了者の進路

Education in the graduate course at the University of Tokyo and career choice

小澤 一仁 [1]

Kazuhito Ozawa[1]

[1] 東大・理系・地惑

[1] Univ. Tokyo, EPS

東京大学大学院地球惑星科学専攻は2000年、かつての地球惑星物理、地質、鉱物、地理の4専攻を統合して設立され、日本の地球惑星科学のサイエンス動向に重要な役割を果たしてきた。しかし、その修士定員は100名を超え、博士定員も50人近く、全国の地球惑星科学系大学院の研究教育に深刻な影響を与えているという批判を受けてきた。その一方、PD問題と相まって、博士進学学位取得者はPDとして不安定な身分を送るのがほとんどで、研究者としても、一般社会人としても、安定的な職には就いていない。本講演では、東京大学の巨大専攻の教育の目的、教育体系、院生動向、修了後の進路、その問題点などを紹介し、あるべき姿を考える。